

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	道の駅久米の里
(2) 指定管理者	所在地 津山市宮尾 563-1 名称 有限会社 アグリ久米 代表者 代表取締役 田村 正敏
(3) 公の施設の所管部署	農林部 ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間利用者数 278,109 人 (前年度 272,575 人) (仙人館 46,364、活菜館 162,967、食遊館 68,778 人)
(2) 事業の内容	活菜館 (久米地域で栽培された農産物の直売施設)、仙人館 (久米地域の特産品展示販売施設)、食遊館 (主に久米地域の食材を使ったレストラン) 等の管理・運営ほか

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 56,968 千円 (前年度 52,269 千円) 利用料金収入 55,732 千円 その他の収入 1,236 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 55,620 千円 (前年度 55,187 千円) 主な支出 人件費 34,898 千円 光熱水費 6,494 千円 修繕・消耗品費等 3,337 千円 委託料 3,511 千円 広告宣伝費 2,595 千円 負担金・公租公課 54 千円 その他 4,731 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	アンケート調査の回答に基づき、農産物直売については、利用者からの要望を生産者や生産組合に伝え、ニーズに合った農産物の出荷に協力してもらっている。
(2) 指定管理者の自己評価	農産物直売について、ぶどうの出荷期間が長かったこと、暖冬により軟弱野菜の出荷が長く続いたこと等により売上が増加した。 レストランについては、前年度 (H30 年度) の売上が減少したことを踏まえ、休日の営業時間を 1 時間延ばしたことにより、売上増となった。 令和 2 年度においては、オープン 20 周年を迎えるためいろいろなイベントを計画し、令和元年度以上の集客を目指す予定だった。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大によりイベントの中止が相次ぐとともに、観光客や県外客が減少するなど厳しい状況ではあるが、地元客をターゲットに、本施設のアピールに努めたい。

<p>(3) 市の評価</p>	<p>アンケート調査結果や前年度の反省を踏まえ、改善のための施策を実施し、また積極的な運営活動に努め、売上増につなげている。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、休館や営業時間の短縮など、営業に多大な影響を受けているが、従業員や利用者の感染予防に努めながら、地元利用者を中心に集客確保に向けた取組を期待する。</p>
-----------------	--

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	道の駅久米の里
(2) 指定管理者	所在地 津山市宮尾 563-1 名称 有限会社 アグリ久米 代表者 代表取締役 田村 正敏
(3) 公の施設の所管部署	農林部 ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成 31年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日
(5) 評価対象期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月 31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間利用者数 261,489人(前年度 278,109人) (仙人館 47,224、活菜館 155,020、食遊館 59,245人)
(2) 事業の内容	活菜館(久米地域で栽培された農産物の直売施設)、仙人館(久米地域の特産品展示販売施設)、食遊館(主に久米地域の食材を使ったレストラン)等の管理・運営ほか

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 57,756千円(前年度 56,968千円) 利用料金収入 56,632千円 その他の収入 1,124千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 55,397千円(前年度 55,620千円) 主な支出 人件費 34,495千円 光熱水費 6,424千円 修繕・消耗品費等 4,698千円 委託料 4,116千円 広告宣伝費 523千円 負担金・公租公課 13千円 その他 5,110千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	年度中随時実施(現在も継続中)、結果集計は今後おこなう。結果を受け、納入業者・生産者・店舗スタッフへフィードバックを行う。
(2) 指定管理者の自己評価	令和2年度は、オープン20周年を迎えるためいろいろなイベントを計画し、令和元年度以上の集客を目指す予定であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により予定していたイベントの中止や、食遊館の休業、観光客や県外客が減少するなど厳しい状況の中、中食需要の増加、来店すること無く予約発送でぶどうの販売を行うなどの対策により、昨年比114%の売上増が達成できた。
(3) 市の評価	新型コロナウイルス感染症の拡大等により、休館や営業時間の短縮など、営業に多大な影響を受けているが、従業員や利用者の感染予防に努めながら、地元利用者だけでなく、遠方からの受注もできている。令和3年度においても、積極的な運営活動に努め、さらなる伸びを期待する。

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	道の駅久米の里
(2) 指定管理者	所在地 津山市宮尾 563-1 名称 有限会社 アグリ久米 代表者 代表取締役 田村 正敏
(3) 公の施設の所管部署	農林部 ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成 31年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日
(5) 評価対象期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間利用者数 238,280人 (前年度 261,489人) (仙人館 42,093人、 活菜館 142,896人、 食遊館 53,291人)
(2) 事業の内容	活菜館 (久米地域で栽培された農産物の直売施設)、仙人館 (久米地域の特産品展示販売施設)、食遊館 (主に久米地域の食材を使ったレストラン) 等の管理・運営ほか

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 54,061千円 (前年度 57,756千円) 利用料金収入 50,879千円 指定管理料収入 2,170千円 その他の収入 1,012千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 54,061千円 (前年度 55,397千円) 主な支出 人件費 32,553千円 光熱水費 6,163千円 修繕・消耗品費等 6,596千円 委託料 5,388千円 広告宣伝費 1,054千円 負担金・公租公課 67千円 その他 2,240千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	年度中随時実施 (現在も継続中)、結果集計は今後おこなう。結果を受け、納入業者・生産者・店舗スタッフへフィードバックを行う。
(2) 指定管理者の自己評価	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、食遊館の2度の臨時休業、予定していたイベントの中止、観光客や県外客の減少などにより、来客数減、収入減となった。 来年度は、感染防止をしながらイベントを行い、集客増、収入増となるよう努力したい。
(3) 市の評価	新型コロナウイルス感染症の拡大等により、休館や営業時間の短縮など、営業に多大な影響を受けているが、従業員や利用者の感染予防に努めながら、地元利用者を中心に集客確保に向けた取組を行っている。 令和4年度においても、引き続き従業員や利用者の感染要望に努めながら、積極的な運営活動により、売上増に繋がるよう期待する。